

送付数 62 回答数 30 (施設数:27) 回答率 48.4%

※同施設から卒業生別に回答をいただきました(別の担当者)。それぞれ1件としてカウントしております。

**Q1.令和6年度入職の本学医学部卒業生の在籍人数をお教えてください。**

1名	2名	3名	4名以上
16	8	2	1

**Q2.昭和大学の卒業生・修了生が次の表の能力・資質を身に付けているかについて、該当する番号をご選択ください。(7)については、具体的な専門知識・技能についてご記入下さい。**

設問	1	2	3	計
	身につけている	どちらともいえない	身につけていない	
(1) コミュニケーション能力	27 90.0%	2 6.7%	1 3.3%	30 100.0%
(2) 自己理解・主体的行動	24 80.0%	5 16.7%	1 3.3%	30 100.0%
(3) 課題発見・対応能力・企画力・計画力	19 63.3%	9 30.0%	2 6.7%	30 100.0%
(4) 創造力・論理的思考力	17 56.7%	11 36.7%	2 6.7%	30 100.0%
(5) 学習習慣・自己啓発力	26 86.7%	3 10.0%	1 3.3%	30 100.0%
(6) コンプライアンス・倫理観・モラル	21 70.0%	8 26.7%	1 3.3%	30 100.0%
(7) 専門知識・技能※	13 43.3%	16 53.3%	1 3.3%	30 100.0%
(8) 文章表現力・数的処理能力	16 53.3%	13 43.3%	1 3.3%	30 100.0%
(9) 情報通信技術 (ICT) 活用力	16 53.3%	14 46.7%	0 0.0%	30 100.0%
(10) チームワーク	27 90.0%	3 10.0%	0 0.0%	30 100.0%
(11) 一般的知識・幅広い教養	19 63.3%	10 33.3%	1 3.3%	30 100.0%
(12) 統計分析・数値的分析力	8 26.7%	20 66.7%	2 6.7%	30 100.0%
(13) 社会課題の俯瞰的理解力	12 40.0%	16 53.3%	2 6.7%	30 100.0%

※(7)の具体例

「身につけている」と回答

- ・ 外科系の手技等
- ・ 臨床推論、評価に基づく介入のプランニング、カンファレンスやディスカッションを通じた方針決定など
- ・ 採血手技 全身診察 救急初療対応

「どちらともいえない」と回答

- ・ 麻酔科研修関連となります。静脈路確保やMcGRATHを用いた気管挿管は一人でできそうです。ただ、マスク換気は(手が小さいこともあります)マスク保持が不慣れな印象で、救急現場で長時間実施することは難しいと思われます。麻酔の知識は、書籍を繰り返し読むことで身についたと考えます。
- ・ 問診や身体診察に関わる能力
- ・ 初期研修医で経験・取得すべき技能一般
- ・ 診療参加型臨床実習項目

「身につけていない」と回答

- ・ 患者やその家族への説明スキル、集中治療管理

**Q3.能力・資質のうち、貴社・貴団体にとって必要とお考えになるものについて、5つお選びください。**

(回答の多いもの上位5つ記載しています)

1	(1) コミュニケーション能力
2	(10) チームワーク
3	(5) 学習習慣・自己啓発力
	(6) コンプライアンス・倫理観・モラル
4	(2) 自己理解・主体的行動
5	(3) 課題発見・対応能力・企画力・計画力

Q4.昭和大学では学士課程において建学の精神である「至誠一貫」のもと「真心と情熱をもって医療の発展と人類の健康増進と福祉に寄与する人材」の育成を目的としています。このような人材像は、貴社・貴団体が求める人材像とどの程度合致するかについて、該当するものをご選択ください。

1 合致する	2 どちらともい えない	3 合致しない	未回答
27	2	0	1

Q5.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

【要望や改善点、期待すること】

- ・病歴や紹介状記載のための国語的な教育があると尚良いように思います。
- ・至誠一貫の精神は赤十字の人道と博愛の精神と合致していると思います。
- ・卒業後も学びを深めるかどうかは、本人の主体性に依存することがあります。たまたま研修で出会った貴学の卒業生が優れており高評価となりました。一人だけの評価ですので、全体を反映しているのかどうかは不明です。
- ・医看薬があり、他職種への理解の深い医師であつたら良いと思う
- ・しっかり教育されていると思います。
- ・要望：2年間チームワークを大切にできる人。モチベーション維持の意識が高い人。
- ・周りに流されることなく自分を律することのできる精神力
- ・文章や言葉にして伝えるスキル、言語化スキルを学生のうちに訓練して欲しいです。一朝一夕ではなかなか身に付かないので。

Q6.本学卒業生の「アンプロフェッショナルな言動」についてお気づきのことがございましたら、ご記載してください。

- ・時間厳守（遅刻等）ができないことが他の同期と比べて多いです。
- ・提出物の期限を守らない、依頼したことを催促するまでやらない
- ・上級医からのフィードバックに対し、「僕はちゃんとやりましたよ。」と強く反論されたことがありました。